

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信
Vol. 7

To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)



謹賀新年



成田山新勝寺の朝護摩 平安時代から続く大いなる祈り。揺らめく炎の中に護摩木を投入し、願いごとを清めて成就することを祈願します。

国際ロータリー第2790地区

ガバナー 諸岡 靖彦

地区スローガン「ロータリーから千葉を元気に」

ロータリー特別月間／職業奉仕月間

1

2020
January



マローニー会長の特別講座 ——会員増強にトライ!——

国際ロータリー 第2790地区

2019-20年度 ガバナー 諸岡 靖彦 (成田RC)

新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり、皆様のご健康とご多幸をお慶び申し上げます。

昨年11月、日本中のシニアリーダーを集めて、国際ロータリー・ゾーン1A、2&3のロータリー研究会が、RIマローニー会長、TRF管理委員会ゲイリーC.K.ホアン委員長を神戸にお迎えして開催されました。

今回お伝えしたいのは、最終日11月19日にマローニー会長の計らいで、34人の現ガバナーとのスペシャル朝食会が催されたことです。マローニー会長は、ここ20年間に日本では30%会員減があった、女性会員は7%でしかない、日本の会員増強が進んでいないことに対して知恵を授けてくれたのです。

人口25万人のある地方都市の単独クラブで、40歳以上の会員による伝統的なAnytownロータリークラブを仮想例として、1枚の紙を折りながら、増強の可能性にtryしていない状況に「喝!」を入れてくださったのです。

質疑応答の対話が始まりました。次々と質問が飛び出して、マローニー会長は「穴の空いたバケツのロータリーを、新しいクラブ文化に直す」ことを、教えてくれました。

会員増強が進まない背景について、ガバナーたちから「日本の中核都市と地方とでは会員基盤がまったく異なっている」「ロータリーが実践団体化していないか、クラブ数を増やそうとすると分割される地区と、増やさないと併合される地区がある」「地方には若者も女性のリーダー層も少ない」などの発言がありました。

会長はこれに答えて、米国でも都市部や地方には増強の不安定要素はさまざまあるが、その現実の中で新会員を掘り起こし、新クラブをつくるアイデアを出し、工夫にtry!している実例の紹介がありました。我々の努力に足りないのは、文化を変えようとする意志と工夫のtry!であることを

痛感したのです。「若い会員や女性会員だけを、増強の対象と考えることだけではない!」のです。

退役軍人だけのクラブができた、RYLA経験者で20歳代の会員ばかりのクラブや会社の若手社員のクラブ、70歳以上の人ばかりのクラブ、若者だけでなくリタイヤした人を誘う、今の自分たちのクラブが好きだけど将来のために衛星クラブをつくり、新しい活動を始めたクラブがある……まずtryせよ! ギブアップはそれからでよい! 新しい増強事例は『The Rotarian』誌で紹介しています。これがマローニー会長の教えでした。

クラブの会員基盤や伝統という目に見えない岩盤に束縛されてtry!しなかったことに気付かされたのです。たとえ収縮の傾向にある地域社会であっても、新しい目で見れば、クラブの固い岩盤に隠れて見えなかった、可能性を持つスペースが必ずあることに気付くことでしょう。try!して届かなければ、次の手にtry!してみようではありませんか。

ロータリーの運動は、どの時代でも新しい事態を切り拓いて成長してきました。そこには時代の変化を察知して、事態を新たな感覚で捉えてtry!してきた良き伝統がありました。1人のリーダーが動き始めてtry!が成功すれば「徳は孤ならず」、必ず仲間ができて、輪が広がり、ヨコ展開が進みます。時代を切り拓くために、今動かずして、いつ動くのですか!



スペシャル朝食会でレクチャーするマローニー会長



新年のごあいさつ



2019-2020年度
ガバナーエレクト
漆原 摂子 (勝浦RC)

お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて諸岡靖彦ガバナーは、地区スローガン「ロータリーから千葉を元気に」を掲げ、無事公式訪問も終了され、次月の地区大会をもってひとつの節目を迎えられることと存じます。

一方私と致しましては、7月からの本番の年度に備え、地区内外の多くの皆様方からのご助言ご教示

をいただきながら、まずはより良いロータリアン、そしてより良い第2790地区を目指し奮闘努力しております。

しかし何と申しまして、ロータリーの主役は各クラブでありクラブ会員お一人お一人です。親睦・サービス（奉仕）・理念（考え方）・実践（行動）、これらの言葉が並列して、あるいは積み重ねられて展開する時はあっても、対立してはならないと感じております。多様性を寛容の精神で認め合うのがロータリアンでございます。皆様のクラブがますます活発に存続されますことを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



2019-2020年度
ガバナーノミニー
梶原 等 (千葉RC)

皆様におかれましては、穏やかに新年を迎えられましたことお慶び申し上げます。

今年2020年は日本のロータリー100周年の年です。1つの区切りとしてこの100周年を迎えるに当たり、ロータリーを見つめ直す良い機会であると考えます。

昨年の規定審議会で大きく改正されたメイクアップの期間拡大、ローターアクトのR I加盟、さらに

は昨年10月のR I 理事会でローターアクトクラブ会員の年齢枠の上限が外されるなど、国際ロータリーの流れは大きく動いています。これに対して戸惑いを感じている皆様もいらっしゃると思います。

そのような中、私たち各クラブでは、正しい規範を示しロータリーが本来進むべき道へ行動することが大切であると考えます。

そして、これをしっかりと見つめ直し、国際ロータリーの中における日本人として、ロータリー精神を正しく認識し、奉仕の理想とサービスの実践に取り組んでまいりたいと思います。

本年も皆様にとって良い1年になりますようお祈り申し上げます。



2019-2020年度
ガバナーノミニー・デジグネート
小倉 純夫 (松戸RC)

新年明けましておめでとうございます。

私は昨秋ガバナーノミニー・デジグネートにご指名いただきました。どうぞよろしくお願い申し上げます。私は松戸RCに入会して、今年で29年になります。ロータリークラブは職業人の集まりであり、職業奉仕の大切さをこれまで学んでまいりました。この急激な変化の時代にあって、ロータリアンとして職業奉仕やロータリーをどのように考えるかは、お一人

お一人さまざまであって良いと思います。しかし我々は、ロータリアンとして職業倫理の向上を目指していることは、どのような時代になっても変わらないと確信するものです。

それと同時に、奉仕は実践を伴わなければ何の意味もありません。私は当地区にとっての問題点、改善すべき点があるのか、あるとすればそれは何か、どのようにしてそれを変えていくかを諸岡靖彦ガバナーの下でじっくり学ばせていただこうと思います。ロータリーにとって何を変え、何を変えてはいけないもの（本質）なのかを見極めたいと思います。

浅学非才ではありますが、着実にその任務を果たす所存です。ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

第6グループ ロータリー情報研修会報告



2019-2020年度
第6グループ ガバナー補佐
川名 光俊 (館山RC)

第6グループ情報研修会1月に延期
第2790地区第6グループ情報研修会を、10月16日に宇佐見透パストガバナーにお越しいただき、諸岡靖彦ガバナーが求めておられる「クラブの活性化について（地域におけるロータリークラブの存在価値を高めるには）」のご講演をいただくという

ことで、夏前より準備を進めてまいりました。
しかし、9月9日未明の台風15号の接近上陸により、当グループは大きな被害を被りました。地区はもとより他地区からも大きな支援をいただき、それを力として実施方向に再度動き始めたのでありますが、10月12日の台風19号の接近により、各クラブ会員のモチベーションが大きくぐらつき、大変悩みましたがこの状態では中止もやむなしと決定いたしました。

しかし、その後クラブ会長と相談をさせていただき、1月25日（土）開催を予定しておりますインターシティーミーティングとコラボで情報研修会を実施する

案が浮上し、これを採用させていただくことにしました。

基調講演を宇佐見パストガバナーに、特別講演を第2800地区山形鶴岡ロータリークラブ所属の元RI会長代理 藤川享胤様をお願いすることで、実施する運びとなりました。

多くの会員の皆様のお支えを糧に、このインターシティーミーティングが成功裏に終わるよう努力してまいります。いろいろな多くのご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

第10グループ ロータリー情報研修会報告



2019-2020年度
第10グループ ガバナー補佐
寒郡 茂樹 (富里RC)

「クラブの活性化」をテーマに開催
第10グループ情報研修会を10月29日、ラディソン成田にて、地区研修サブリーダー寺嶋哲生パストガバナー、中村俊人ロータリー研修委員会副委員長を来賓にお迎えし、諸岡靖彦ガバナーにも駆けつけていただき、約120名の登録にて盛大に開催させていただきました。

第1部はパネルディスカッションとして、地区の会員維持増強セミナーにてご講演いただきました、高崎RCの元会長であられる田中久夫氏のスライドを基調としながら、グループ内6クラブの代表者をパネラーとして進行致しました。

パネラーも新人からベテラン、女性会員とバラエティーに富んだ方々をご推薦いただきましたので、個性ある意見をいただき、会員増強や維持拡大に対する意識が大いに高まったと感じております。私の所属する富里ロータリークラブにおいても、早速女

性会員の入会があり、セミナーの効果が少しはあったのかと、大変喜んでおります。

第2部は大懇親会と称し、ホテル内の娯楽施設「湯楽城」にて100名を超える参加をいただき、膝を交えた交流の時間を過ごすことができました。

私自身は、グループ内でのさらなる交流をすることにより、会員増強やクラブのレベルアップを図っていきたいと思っております。他クラブの会員との交流により、自クラブの会員に紹介していただけるような、そんな関係が今後も構築できたらと希望いたします。

第10グループはガバナー輩出グループでもあり、今後の諸岡ガバナーを支えて頑張ってまいります。ご協力をよろしくお願い申し上げます。



第11グループ ロータリー情報研修会報告



2019-2020年度
第11グループ ガバナー補佐
上村 文明 (我孫子RC)

「クラブを元気に！」をテーマに開催
第11グループの情報研修会は10月15日、柏市のザ・クレストホテル柏で約130名の参加を得て開催されました。

「クラブを元気に！ー自分のクラブをもっと知るー」のテーマのもと、地区研修サブリダー寺嶋哲生パストガバナーに基調講演をしていただき、その後テーブルごとに各クラブの良いところ、不足しているところを棚卸ししていただきました。クラブの良い点を再度確認し、不足しているところを強化する。そして第11グループを元気にし、柏市を中心とした東葛エリアから「千葉を元気に」する方法を導いていこうとの趣旨



で行われました。

基調講演では、「元気なクラブ」とは効果的なクラブをつくること、会員基盤の維持・拡大、地域社会における奉仕プロジェクト、ロータリー財団への支援、また定款第3条クラブの目的(Purposes)と定款第5条の目的(Object)についても触れられました。奉仕の理念については、他に対する思いやりを持ち、人に役に立つという基本的理念を持つのがロータリークラブであると述べ、外には各奉仕活動、クラブでは親睦、職業倫理、人道的奉仕を行い、クラブを元気にするための方法とアプローチについて、例会、親睦交流、研修、奉仕活動を挙げ、戦略計画を進め、現状の分析、あるべき理想の姿を求め、複数年にわたる活動の重要性について語られました。

これを受けてテーブルディスカッションに移り、10テーブルで議論を行い、5テーブルに発表をいただきました。

結果、第11グループでは全てのクラブにおいて会員数の拡大があり、女性会員・若手会員の増加があり、財団においても寄付を行い海外支援奉仕活動がなされ、力強く発展しています。反面、若手会員の増加による研修体制の不備、戦略計画と活動においてこれからの取り組みが待たれるとのことでした。

第13グループ ロータリー情報研修会報告



2019-2020年度
第13グループ ガバナー補佐
森谷 博 (松戸中央RC)

「クラブの活性化について」をテーマに開催
10月10日、第13グループの情報研修会を松戸商工会議所で開催しました。松戸RC、松戸東RC、松戸北RC、松戸中央RC、松戸西RCの5クラブに参加していただきました。

初めに、漆原摂子ガバナーエレクトに「クラブの活性化について～クラブを元気にする～」との題で基調講演をいただきました。

RIと日本の会員の現況に触れてから、ロータリーの目的を述べられ、クラブは戦略計画を持つことが重要であると言われました。そして、ご自身の入会の動機等に触れられ、勝浦RCの現状報告もされました。RIは、今年7月から4つの新たな戦略的優先事項を打ち出したことでの話となりました。

そして「ロータリーは人づくり、ロータリーは人を育て、ロータリー

は私たち自身を成長させてくれます」と言われ、最後にポール・ハリスの言葉「ロータリアンよ、寛容であれ！」で締め括られました。

次に、「クラブの活性化」について、5クラブの会長エレクトや委員長に、それぞれ発表していただきました。また、2019年規定審議会報告といたしまして、地区研修サブリダー寺嶋哲生パストガバナーに、標準ロータリークラブ定款における主な改正点として解説をしていただきました。最後に、得居仁パストガバナーに講評をいただき、終了しました。

パストガバナー土屋亮平様、同じく石井亮太郎様、地区委員長や委員の皆様、また第13グループの各クラブの会員の皆様には、多数ご出席していただきましたことを厚く御礼申し上げます。





2019-2020年度
理念研究委員会
委員長 **海寶 勘一** (千葉西RC)

時々の会合の際に訪問するホテルロビーでの風景が、私の職業奉仕理念と実践の研鑽と修練の場になっています。ご自身が経営されるホテル1階ロビーでの接客対応を拝見し、万度感銘を受けているロータリアンがいます。常に壁際を遠慮がちに移動され、その背筋を伸ばし、お顔の表情はいつも穏やかであり、行き交うお客様に対して誠実で礼儀正しく接し、優しい真心込めた気配りと目配りをされている姿に接するたびに、尊敬の念を深めています。

そのホテル経営者とは松戸RCの土屋亮平パストガバナー（以下PDG）です。ホテルに訪問するたびに、変わらぬ光景に接することができますが、誠心誠意の接客対応はロータリーライフから会得したことを知りました。土屋PDGには、昨年11月10日に開催した地区研修委員会、RLI推進委員会、理念研究委員会が協同しての活動であった、「地区先達と語る『私のロータリー』の集い」にご講演をお願いしました。その際に職業奉仕に関して熱く語られたので、参加された皆さんもその内容を直接耳にすることができ、大いに参考にさせていただきました。

お話の内容ですが、改めてロータリーライフの基本となる歴史と、ロータリー理念を大切にすることの意義を語られ、「私のロータリー観」としてまとめていただきました。お客様を大切に接する心掛けの基礎は、土屋PDGがロータリーに入会された翌年1964年のこと、当時の第358地区（関東1都6県と新潟県）ガバナーであった神守源一郎さんとの出会いにあったそうです。公式訪問時の特別講演で「ロータリーの綱領（目的）」が最も基本で大事であることと併せて、職業奉仕理念と実践の教示があり、ロータリーの神髄を会得したそうです。

神守ガバナーは「職業奉仕とは一言、商売繁盛の秘訣である」と明快にされ、真心込めてお客様を大事にし、一生懸命尽くすことに専念することが商売繁盛に結び付き、お客様が感動し感謝した結果として利益を得て、従業員にも還元できることを示唆されたそうです。

さらには同業者や異業者を通して、社会への貢献と改善に結び付くことがロータリアンの責務であると諭されたそうです。簡単明瞭には、「自己の職業に誇りと愛情を持ち、責任を果たすことが全てであり、顧客からどれだけ感動の喜びをもらえるかが、職業奉仕の神髄である」と話され、感化を受けたそうです。これ以来土屋PDGは、ロータリーは職業奉仕の実践あるのみと固く信じて、お客様が喜び感動していただけることを願って、日々自信を持って職業に励んでいるそうです。

そもそも職業とは何か、また自己の職業観とは何であるかの問い掛けに対しては、佐藤千壽さん（RID2580PDG）の説明を紹介されています。佐藤PDGいわく、経営者自身が己の人格を正すことから企業経営の姿勢を正すことにつながり、人生の王道を歩む大切さを説いていただいたそうです。

あくまでも、私たちロータリアンは職業人の集合体として、職業分類の代表として集い、品位を高めるクラブ例会で切磋琢磨し、その会得した徳を仲間や同業者を介しながら分かち合い、社会に向けて奉仕の実践をする役目があります。そのためにロータリアンの基本的な心掛けとして、「手続要覧」に記載されている基本理念を理解し、実践できるための修学が必然になっています。

「1. ロータリーの基本理念」のページに書かれていることは、「ロータリー100年以上の実績は、世界中のロータリアンの誇りを高めてきた。ロータリーが受け継いできた職業人精神と奉仕の歴史を理解するために、ロータリーの基本理念と価値声明に通じるべきである。以下は、ロータリアンがロータリーに関与と参加の意欲を高めるために用いる価値声明と理念である」と書かれています。

まずは3つの声明文として、「社会奉仕に関する1923年の声明」「社会奉仕に関する声明」「青少年と接する際の行動規範に関する声明」が記されています。併せて、「四つのテスト」「ロータリーの目的」「五大奉仕部門」「国際ロータリーの標語」「国際ロータリーの使命」「ロータリー財団の使命」が理念として明記されています。

私たちロータリアンは、まずもってこの基本理念を修得することが根本であることを悟るべきです。自信と誇りを持って誠実に職業奉仕理念を会得し、世のために尽くし、商売繁盛の秘訣として職業奉仕の実践を誇り合いたいものです。

ベトナムで水と衛生の問題に取り組む

2015-16年度地区補助金奨学生 波多野 奈津子

私は、2015-16年度地区補助金奨学生として、千葉幕張ロータリークラブにご推薦いただき、イギリスのリバプール熱帯病医学校（Liverpool School of Tropical Medicine）に1年間留学をさせていただきました。国際公衆衛生学の修士課程で、途上国の医療と保健に関する問題と介入方法、介入のためのリサーチスキル、援助プログラムのマネジメントなどについて学びました。

卒業後は、UNICEFベトナム事務所でのインターンを経て、国際協力機構（JICA）で2年間、政府開発援助を通してアフリカ、中東、中南米の国々の保健プロジェクトの管理運営に携わり、今年の5月より、再びベトナムで国連ボランティア（<https://unv.or.jp>）として、UNICEFベトナム事務所で水衛生分野の仕事に携わっています。

ベトナムは経済の発展と共に、貧困削減のために国際社会が取り決めたミレニアム開発目標（通称MDGs）の多くで指標が改善したものの、国内の貧困格差は大きく、健康や教育などあらゆる分野で、農村や高原地域に住む人々や、少数民族への支援が必要とされています。

水衛生分野の援助活動においては、安全できれいな水へのアクセスや水質の改善、野外排泄の撲滅に向けたトイレの普及と使用促進、そして排泄後、調理や食事前など適切なタイミングで石鹸を使った手洗いを普及させることを目的としています。

これらのことは、日本ではごく当たり前のことのように思われるかもしれませんが、多くの途上国では、貧困やインフラの未整備を含めさまざまな社会経済的、文化的な理由から、安全な水や衛生施設を利用することが難しく、また適切な衛生行動が行われないことで、感染症や下痢などの病気になり、命を落とすこともあります。国際ロータリーでも水衛生への貢献は大きなテーマの1つです（<https://www.rotary.org/ja/our-causes/providing-clean-water>）。

留学時の研究を振り返ってみると、水へのアクセス改善という点で現在の仕事へのつながりを感じます。当時、修士論文では、ガーナの農村地域における寄生虫由来の疾患である住血吸虫症を取り上げ、その対策の1つとして健康教育・ヘルスプロモーションの効果的な方法について研究しました。医療の問題として捉えたと、予防の知識の普及や診断、治療への対策を考える必要がありますが、寄生虫に汚染された水を生活用水として使うことで感染が起こるため、現地調査では安全な水へのアクセスをどうするかということがそこに住む人々にとって死活問題でした。

また、たとえインフラが整っていたとしても、汚染されていない安全な水が安定的に供給され、人々が必要な時に手の届く価格で使えなければ、意味がありません。ベトナムでも、農村地域でのアクセスの問題に加えて、都市部も含めて水質をどう確保するかが課題の1つです。

UNICEFでは、水質のガイドラインやモニタリングに携わるベトナム保健省や農業省に政策レベルで働きかけながら、コミュニティレベルでは、煮沸や太陽光などで家庭でできる飲料水の対策の普及に努めています。さらに、ベトナムは世界で6番目に最も気候変動の影響を受ける国として知られており、特に中部地域や南部のメコンデルタ流域に住む人々は、台風や洪水により甚大な被害を受けることが少なくありません。この分野では、日本政府とも連携しつつ、東日本大震災の教訓と経験を踏まえた防災に関する協力の枠組みを参考に事業を展開しており、日本の知恵や知識が活かされています。

今年の10月には、集中豪雨が東日本に深刻な被害をもたらし、千葉県でも多くの方々の生活に短期的、長期的な影響を及ぼしていると聞いています。場所や方法は異なっても、水害による被害を少しでも防ぎ、また、安全な水と衛生施設が普及することで人々の健康と生活が守られるよう努めていきたいと思います。



子どもの権利条約30周年を記念したイベントにて



国際ユースデーのイベントにて（一番左が筆者）



ユニセフのスタッフと（下段左から2番目が筆者）

コーディネーターNEWS

第3地域ロータリーコーディネーター補佐 穴井元昭（博多RC）

新会員に対する早期のロータリー哲学教育の重要性

本ARCを2年半経験しての感想を述べる。

グローバルなロータリー活動では、会員増強、財団への寄付、6つの分野への国際社会奉仕などに重点が置かれており、国際ロータリーは世界有数の国際人道支援団体であると公言している。しかし、これらを実行するのは草の根のロータリアンである。

私の属している2700地区や会員増強セミナーで基調講演をした2720地区で、①ロータリーは奉仕団体である ②ロータリーは異業種交流の親睦団体である ③ロータリーは親睦と奉仕の二本立の団体であるとの三択問題を質問すると、①に手を挙げる人は皆無、②はパラパラ、③が圧倒的に多数である。しかも親睦と奉仕の関係は、「例会なくして親睦なし 親睦なくして奉仕なし」と考えている人がかなり多い。とすると、2700地区や2720地区の草の根のロータリアンとグローバルなロータリーではロータリー哲学の認識に食い違いがある。

この点に関しては古くから問題が指摘されている。アーチ・C・克蘭フ（第六代会長）。ロータリークラブの側にも、また、余りにも多くの個人ロータリアンの側にも、ロータリーとその目的、その目標、その理想について、明らかに認識不足がある。現在の管理当局はこの問題に真剣に取り組んだ結果、啓蒙運動として何らかの手段を講ずることが最も肝要だと考えた。この問題のすべては主としてクラブ会長の手にあるのだ。国際理事会がいかに努力しようとも、クラブ会長が有益な提案を実行しないならば、すべては徒労に帰すのだ。（ロータリー・モザイク ハロルド・トーマス著 松本兼二郎訳 59ページ）

そして、クラブの新会員が時を経てその重要なクラブ会長になり、その会長がまた時を経てガバナーになり、さらにARCのような中間管理職になる。もし、新会員にロータリー哲学の正しい初期教育が施されずに、「例会や飲み会に出席しておればそのうちに分かるよ」と放置され、例えば、例会出席、親睦、職業奉仕がロータリーの本質であるかのような刷り込みがなされたたすると、その後のPETSやGETS、あるいは国際協議会などの短期の研修会がいかに優れたものであっても、初期の刷り込みを打ち消すことはなかなか困難で、研修会での貴重な話が馬耳東風に聞き流されるのではないかと思うが如何であろうか。

「ロータリーの哲学などがきちんと理解されて、運動が続いていかない限り、しまいいは単なる人の集まりに陥ってしまうのではないかと思います（ロータリーの友2019年10月号横組み32ページ）」また、これは初期教育のさらに前の段階の話になるが、「奉仕活動に興味のある人を誘うことが重要である」（ロータリーの友2019年8月号横組み16ページ）

（公財）ロータリー米山記念奨学会ニュース（ハイライトよねやま Vol.236）

今月のピックアップ

- ・ 2020学年度奨学金申込み状況
- ・ 米山イベント満載の地区大会 ― 第2800地区 ―
- ・ 寄付金速報 ― 米山月間のご支援に感謝 ―
- ・ 海外学友会の海岸清掃活動
- ・ 台風被災地でボランティア

《今月のピックアップ記事》

2020学年度奨学金申込み状況

2020学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士／地区奨励）には、指定校 558 校（「地区を超えた指定校」の重複含む。前年度540 校）から 1,402人（1,384人）が推薦されました。被推薦者の国籍・地域は、中国53.1%（51.0%）、ベトナム 10.8%（13.3%）、韓国 8.5%（9.3%）、台湾 3.6%（3.3%）、次いでマレーシア、インドネシア、ネパールの順となっています。

課程別の応募状況は、博士課程21.5%（21.2%）、修士課程36.2%（37.9%）、学部課程 40.0%（38.7%）と、昨年度に続いて学部課程が、従来の傾向では最も多かった修士課程を上回っています。大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、7地区14校から計33 人の応募がありました。

寄付金速報 ― 米山月間のご支援に感謝 ―

10月までの寄付金は、前年同期と比べて1.11%減（普通寄付金:0.01%減、特別寄付金:1.92%減）、約600万円の減少となりました。9 月には寄付累計額がいったん増額に転じましたが、10 月単月の寄付が昨年度より少なく、再び前年度比マイナスとなりました。一方で、「米山月間」である10月には、学友からも計45 万円のご寄付をいただきました。米山学友も含め、多くの方々からのご寄付に厚く御礼申し上げます。上期も残り2カ月弱となりました。今後とも引き続きご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight235_pdf.pdf

叙勲・褒章・表彰 (敬称略)

法務大臣賞



谷川 安男
(市原中央RC)

教育功労者



少名子 正彬
(柏RC)

教育功労者



花島 和宏
(柏RC)

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



平野 弘和
(木更津RC)
9回目



水野 晋治
(柏西RC)
8回目



山田 みつお
(木更津RC)
8回目



白熊 大
(上総RC)
4回目



重城 敬子
(木更津RC)
3回目



杉山 正躬
(銚子東RC)
2回目



高橋 良昌
(習志野RC)
1回目

新マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



(故)鈴木 克彦
(富津中央RC)
ご遺族からのご寄付



篠宮 功
(松戸RC)



田原 晨暁
(松戸RC)



上路 三喜男
(松戸東RC)



山野井 章
(松戸西RC)

ベネファクター



中澤 雅彦
(松戸RC)
2回目



湯浅 健司
(松戸東RC)

新ベネファクター

米山功労者



杉浦 誠
(松戸RC)
16回目



森井 康夫
(市川東RC)
14回目



皆川 隆
(鎌ヶ谷RC)
10回目



畠本 一実
(市川東RC)
9回目



伊原 清良
(松戸RC)
9回目



小泉 勝司
(松戸RC)
9回目



織田 信幸
(松戸RC)
9回目



小倉 純夫
(松戸RC)
4回目



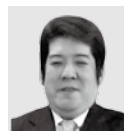
杉山 正躬
(銚子東RC)
3回目



瀧澤 勝利
(市川東RC)
2回目



中澤 雅彦
(松戸RC)
2回目



井橋 雅彦
(八日市場RC)
1回目



丹野 昭一
(八日市場RC)
1回目



関 欽基
(八日市場RC)
1回目

新ロータリアン (敬称略)



手塚 隆雄
(千葉東RC)
環境コンサルタント
7月2日入会



浅田 孝
(佐倉中央RC)
マネジメント
11月2日入会



小川 智之
(千葉RC)
コンサルタント
11月18日入会



秋山 慎太郎
(千葉RC)
弁護士
11月25日入会



卯田 勝擴
(多古RC)
小売業
12月3日入会



阿部 信一
(富津シティRC)
産業機械製造
12月4日入会



吉原 祐真
(銚子RC)
損害保険
12月4日入会



岡元 誠
(富津中央RC)
商業デザイン
12月5日入会

国際ロータリー第2790地区(千葉) 暫定出席記録・会員数報告(2019年11月分)

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会 回数	会員数				
				2019 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川	100.00	3	42	3	42	4	0
	市川東	100.00	2	42	2	40	2	△2
	市川南	88.00	4	23	2	23	2	0
	浦安	78.70	3	42	1	42	1	0
	市川シビック	80.46	3	33	0	34	0	1
第2グループ	浦安ベイ	83.33	3	15	0	18	2	3
	平均	88.42	3.00	32.83	1.33	33.17	1.83	2
	船橋	92.36	3	30	0	31	0	1
	船橋西	86.49	4	39	7	39	7	0
	鎌ヶ谷	80.21	4	30	2	29	1	△1
第3グループ	船橋東	81.55	4	29	2	29	2	0
	船橋南	70.00	4	11	1	13	1	2
	船橋みなと	81.95	4	18	4	19	4	1
	平均	82.09	3.83	26.17	2.67	26.67	2.50	3
	千葉	83.11	3	96	3	105	5	9
第4グループ	新千葉	66.16	4	55	0	54	0	△1
	千葉西	82.47	3	50	4	53	5	3
	千葉中央	91.39	4	27	0	26	0	△1
	千葉幕張	79.60	4	34	3	38	4	4
	千葉東	74.85	2	29	2	30	2	1
第5グループ	千葉若潮	68.07	2	30	1	32	1	2
	平均	77.95	3.14	45.86	1.86	48.29	2.43	17
	千葉南	77.01	4	47	7	47	7	0
	市原	83.01	2	52	4	56	4	4
	千葉港	80.56	3	25	4	26	4	1
第6グループ	市原中央	83.94	4	47	1	47	1	0
	千葉北	80.46	3	29	4	29	4	0
	千葉緑	85.71	3	21	1	22	2	1
	平均	81.78	3.17	36.83	3.50	37.83	3.67	6
	木更津	71.13	2	31	5	31	5	0
第7グループ	上富津	63.00	4	14	0	15	0	1
	上富津中央	63.17	3	35	2	37	5	2
	木更津東	80.94	4	44	5	46	5	2
	君津	67.87	3	57	5	58	5	1
	袖ヶ浦	82.61	3	24	4	25	4	1
第8グループ	富津シティ	80.86	4	14	1	14	1	0
	平均	72.80	3.29	31.29	3.14	32.29	3.57	7
	館山	75.40	4	46	4	46	4	0
	鴨川	78.25	4	34	5	34	5	0
	勝浦	90.15	3	41	5	44	5	3
第9グループ	千倉	50.00	3	4	2	4	2	0
	鋸南	80.00	2	15	2	15	2	0
	館山ベイ	65.14	4	24	0	24	0	0
	平均	73.16	3.33	27.33	3.00	27.83	3.00	3
	茂原	78.80	4	58	4	60	4	2
第10グループ	東金	80.48	2	19	1	21	2	2
	大原	87.50	4	10	1	10	1	0
	大原喜	86.66	3	5	1	5	1	0
	成田空港南	78.68	3	31	0	32	0	1
	茂原中央	67.05	4	20	2	22	2	2
第11グループ	大網	73.28	4	29	1	29	1	0
	東金ビュー	56.25	2	16	1	16	1	0
	平均	76.09	3.25	23.50	1.38	24.38	1.50	7

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会 回数	会員数				
				2019 7/1	女性	当月	女性	増減
第8グループ	銚子	78.60	4	39	3	40	4	1
	旭	63.50	3	43	4	41	4	△2
	八日市場	62.12	4	38	3	39	3	1
	銚子東	74.06	4	33	2	32	2	△1
	平均	69.57	3.75	38.25	3.00	38.00	3.25	△1
第9グループ	佐原	80.55	4	48	0	49	0	1
	多古	71.43	4	16	0	18	0	2
	小見川	81.25	2	27	0	27	0	0
	佐原香取	85.00	2	24	1	23	0	△1
	平均	79.56	3.00	28.75	0.25	29.25	0.00	2
第10グループ	成田	63.67	5	65	4	65	4	0
	八街	82.50	4	30	3	31	3	1
	印西	71.44	3	16	1	16	1	0
	白井	66.66	3	12	1	12	1	0
	成田コスモポリタン	77.05	4	30	0	31	1	1
第11グループ	平均	55.33	4	67	0	72	0	5
	柏	69.44	3.83	36.67	1.50	37.83	1.67	7
	柏孫子	74.24	4	65	10	66	10	1
	我孫子	78.12	4	31	3	32	3	1
	柏西	86.25	4	64	3	62	3	△2
第12グループ	柏東南	71.20	3	41	8	41	8	0
	柏平均	93.22	3	41	9	40	9	△1
	習志野	69.42	4	24	1	26	1	2
	八千代	86.35	4	52	0	53	0	1
	佐倉	69.87	4	37	3	39	3	2
第13グループ	八千代中央	67.20	4	23	1	23	1	0
	四街中央道	76.63	4	29	4	28	4	△1
	習志野中央	61.58	4	47	4	50	5	3
	佐倉中央	70.86	3	23	5	24	6	1
	平均	71.70	3.86	33.57	2.57	34.71	2.86	8
第14グループ	松戸	95.40	4	60	0	60	0	0
	松戸東	91.88	5	49	0	48	0	△1
	松戸北	76.61	4	33	0	34	0	1
	松戸中央	76.80	4	42	7	43	7	1
	松戸西	84.17	4	29	0	30	0	1
第15グループ	平均	84.97	4.20	42.60	1.40	43.00	1.40	2
	野田	85.53	3	54	6	54	6	0
	流山	54.76	3	14	3	14	3	0
	野田東	68.06	4	18	0	18	0	0
	流山中央	85.00	3	21	2	22	2	1
第16グループ	野田セントラル	80.00	3	25	1	25	1	0
	平均	74.67	3.20	26.40	2.40	26.60	2.40	1

クラブ数 82RC

2019年7月1日	地区会員数	2,777人
2019年11月末日	地区会員数	2,840人
2019年7月1日	地区女性会員数	201人
2019年11月末日	地区女性会員数	215人
当月平均出席率		77.78%
増減		+63
女性会員増減		+14

物故会員 (敬称略)



鈴木 克彦 (富津中央RC)

逝去日: 2019年11月21日 (享年85歳)

入会日: 2017年10月 5日

↓地区HP

ロータリーレートのご確認につきましては、右記QRコードから「地区HP」をご確認いただきますようお願い申し上げます。



地区大会記念ゴルフ大会のご報告

国際ロータリー第2790地区
2019-20年度地区大会記念ゴルフ大会
実行委員長 永井 秀和(成田RC)

10月21日、ゴルフ倶楽部成田ハイツリーにて開催致しました地区大会記念ゴルフ大会には、多くの方にご参加いただきまして誠にありがとうございました。

9月の台風15号と10月の台風19号による爪痕が残る中での開催となりましたが、当日は天候にも恵まれ、参加者総勢136名が各クラスで熱戦を繰り広げました。

我々成田RCのスタッフは、前日より誘導看板などの取り付けや賞品の確認などの準備から始まり、当日はクラブハウスに6時に集合し、それぞれの持ち場で選手をお迎え致しました。諸岡靖彦ガバナーも早朝よりスタートホールで参加者全員と記念撮影を行いました。

この度のゴルフ大会を開催するに当たり、実行委員会ではどのような大会にすれば皆様に喜んでいただけるか議論を重ねてまいりました。その中で重要なテーマとなったのは「おもてなし」を大切にすることと「成田らしさ」を出すことでした。

「おもてなし」では、遠方よりお越しいただく方も多いので、簡単な朝食を準備し、また表彰式までの待ち時間をいかに退屈しないでくつろいでいただくかを考え、ジャズ演奏でお酒を楽しみながらお待ちいただくことにしました。

「成田らしさ」では、参加賞に成田山新勝寺の「勝御守」を選び、また成田RCには日本航空、全日本空輸に在籍するメンバーもおりますので航空券を賞品とさせていただきます、プレゼンターも客室乗務員の方にお

手伝いいただきました。

大会を直前に控えた9月、台風15号により千葉県は甚大な被害を受けました。一時は大会開催も危ぶまれましたが、関係者の方々と協議の末、予定どおり開催することにし、当初予定していた「ロータリーポリオプラス」および「ロータリー希望の風」への寄付のほか、台風15号による被災者への義援金もお願いし、当日の表彰式では多くの方にご協力をいただきました。

最後に今大会を振り返り、ロータリアンの素晴らしい人柄に接し、改めて感謝致します。

地区大会記念ゴルフ大会成績

一般の部

順位	氏名(クラブ)	グロス	ネット
優勝	福田 宏(富里)	93	70.2
準優勝	小野塚 雄(松戸東)	89	72.2
3位	藤田 一雄(富里)	92	72.8

シニアの部(70歳以上)

優勝	松川 清敏(佐原)	80	69.2
----	-----------	----	------

女子の部

優勝	日野 久美子(船橋みなと)	89	75.8
----	---------------	----	------

団体の部

優勝	藤田 一雄 富里 福田 宏 松永 達人	277	217
----	---------------------------	-----	-----

地区大会記念ゴルフ大会 寄付金

ロータリーポリオプラス	373,000円
ロータリー希望の風奨学金	142,000円
災害(台風15号、19号)見舞金	142,060円



スタートホールで諸岡ガバナーと記念撮影



JAL賞 菱木智人さん(八日市場RC)

ANA賞 岡島秀男さん(東金RC)

ポリオの最新事情&国際ロータリー第1地域表彰(柏西RC)

国際ロータリー2790地区ポリオプラス委員会 実行委員長 朱 孝(習志野中央RC)

昨年9月フィリピン、12月にマレーシアで相次いだ、根絶以来初となるポリオ患者が発生したというニュースに、心配された方も多くいらっしゃると思いますので、改めてポリオの最新事情について述べさせていただきます。

ポリオ(急性灰白髄炎=小児マヒ)は、主に5歳未満がかかる疾患で、感染者200人に1人の割合で不可逆性の急性弛緩性麻痺(AFP)が起こります。

ポリオウイルスには、大きく分けて野生株型(I~III)とワクチン由来型(I~III)の2種類があります。このうち野生株II型については2015年に、III型については2019年10月に根絶が宣言されています。

2019年現在、野生株I型ポリオの発症が報告されている国は、アフガニスタン、パキスタンの2カ国のみであり、ナイジェリアについては2019年に3年間発症数ゼロを達成したため、現在常在国リスト除外に向け準備が進められており、来年中には遂にアフリカ大陸がポリオフリーとなる見込みです。

しかしながら、2017年にかけて、わずか22人まで減少した年間新規発症者数は、2018年より再び増加に転じ、昨年は100人を超えてしまいました。10年以内に常在国からポリオを根絶できなければ、世界中で再び20万人以上の新規患者が発生する可能性が生じるともいわれております。世界に1人でも感染した小児がいる限り、全ての国にポリオ感染のリスクが残ります。

それを防ぐ唯一の方法は予防接種(経口生ワクチン)です。ただし、経口生ワクチン(OPV)には弱毒化したポリオウイルスが含まれており、この遺伝子がごくまれに突然変異を起こし、野生株と変わらぬ毒性を

持つことがあり、これをワクチン由来型ポリオウイルス(VDPV)といい、接種率が低く、衛生環境が極めて不十分な場所でのみ発生します。

このワクチン由来型は、一昨年は、常在国も含め7カ国で104人の症例が報告され、昨年は先述のフィリピン、マレーシア、中国を含め17カ国に拡大し200人以上の症例が報告されています。ワクチン由来型の発症者数の増大の原因は、現地での予防接種率の低下です。それにより、潜在的な感染者数は相当数に上るとみられ、東京五輪開催時、海外からの来訪者によってウィルスが日本に持ち込まれるリスクを、現状では完全には否定できません。

このVDPVによる感染を予防するには、接種率の向上と併せ、2次感染リスクのない不活化ワクチン(IPV)の普及が最良といわれています。IPVは4~5回の投与が必要で、1回の注射にかかる費用は4,000円と生ワクチン(60円程度)に比べかなり高額なのが難点であり、かつ注射なので接種は医師しかできません。日本では2012年より不活化ワクチンが導入され、新生児に対する接種に年間約180億円の費用が自治体により投じられています。

以上のようなことから、現在WHO、国際ロータリーは『ポリオ根絶』という言葉、あらゆるポリオウイルスの感染抑止という意味で用いることにしています。つまり、『根絶』は非常に重い意味のある言葉なのです。

『根絶まであと少し!』

目前にまで迫ったものの、その道が決して平坦ではないことを共有し、なお一層ポリオ根絶活動に対するご支援・ご協力をいただきたいと存じます。

第2790地区、地区内クラブカード保有率全国1位!

皆様の「ロータリーカード」普及へのご理解が実を結び地区内のクラブカード保有率が全国一となりました。

地区組織内にロータリーカード担当を設けた結果であるこの事例は昨年11月、神戸で開催されました「ロータリー研究会」にてロータリーカードの発表の中で紹介されました。

また、2018-19年度「ロータリーカード・個人/ビジネスカード部門ベストクラブ賞」におきまして、柏西ロータリークラブが見事第1地域1位となり表彰を受けました。

柏西ロータリークラブの皆様、おめでとうございます。



表彰を受ける水野晋治さん(柏西RC)

『ロータリーカード・個人/ビジネスカード部門 ベストクラブ賞』		
第1地域	1位 柏西	11,043,665円
	2位 南相馬	7,828,217円
	3位 浦和	7,617,180円
第2地域	1位 甲府	14,768,087円
	2位 川崎マリーン	14,065,146円
	3位 東京成城新	14,006,869円
第3地域	1位 岡山南	21,626,798円
	2位 富田林	11,677,336円
	3位 岡山東	10,088,706円

ベストクラブ賞発表